

# 国際標準化機構分担金

令和4年度予算額 **1.8億円**（1.7億円）

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 国際標準化機構（ISO）には、165カ国が加盟しており、主に国際規格の開発等を行っています（電気・電子・通信分野以外）。その活動の一定部分は、加盟団体の分担金によって支えられます。
- 日本からは、閣議了解に基づき、1952年からJISC（日本産業標準調査会；産業標準化法に基づく審議会、事務局は経済産業省）が加盟しており、これに伴う分担金を支払うものです。
- ISOにおける国際規格開発プロセスにおいて、我が国の意見を発信、反映させています。これにより、我が国産業の国際競争力強化にも貢献しています。

### 成果目標

- 昭和28年度からの事業であり、ISOにおける、資金拠出に応じた、活動への貢献と発信力の確保を通じて、我が国の国際標準化活動の影響力を強めることを目指します。

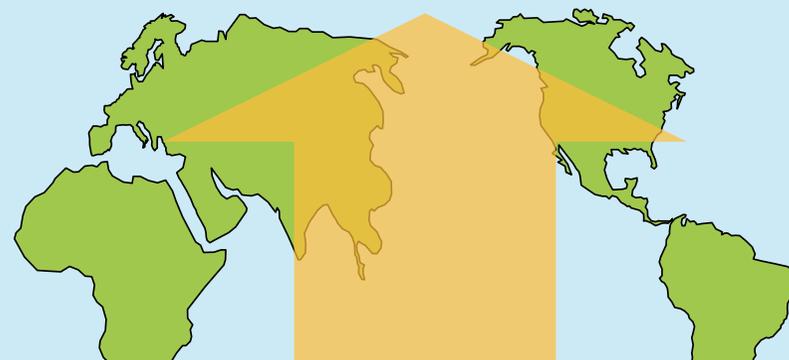
### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ



会員数(2020年末現在)：165カ国  
規格数(2020年末現在)：23,574規格



- 1カ国1機関が加盟（会則：分担金の支払）
- 規格開発や普及など、積極的な国際標準化活動を実施



日本は、ISOの上層組織である理事会及び技術管理評議会において、常任ポストを継続して務め、リーダーシップを発揮している。例えば、アジア地域のISOへの積極的関与を促進するための地域戦略や、規格開発プロセスの迅速化に向けた議論において、我が国の意見を反映させている。